

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型	
信託期間	2022年2月15日まで（2012年2月14日設定）	
運用方針	<p>三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券を通じてわが国の公社債を主要投資対象とするとともに、外国為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用することにより、利子収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>マザーファンド受益証券への投資比率は、市況動向等に基づき、信託財産の純資産総額に対して50～100%の範囲内で配分します。</p> <p>クオンツ（定量分析）モデルを活用し、外国為替予約取引および直物為替先渡取引等を用いることで、新興国を含む世界各国の通貨の買建て（ロング・ポジション）と売建て（ショート・ポジション）を構築し、相場環境にかかわらず中長期的な収益の獲得をめざします。</p> <p>実質的な外国為替予約取引および直物為替先渡取引等の合計額（同一通貨においては、ロング・ポジションとショート・ポジションの差額とします。）は、信託財産の純資産総額の範囲内とします。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、外国為替予約取引および直物為替先渡取引等を主要取引対象とします。なお、当ファンドでわが国の公社債等に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第5計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 国内債券通貨プラス

愛称：秀債くん

第91期（決算日：2019年9月17日）  
 第92期（決算日：2019年10月15日）  
 第93期（決算日：2019年11月15日）  
 第94期（決算日：2019年12月16日）  
 第95期（決算日：2020年1月15日）  
 第96期（決算日：2020年2月17日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「国内債券通貨プラス」は、去る2月17日に第96期の決算を行いましたので、法令に基づいて第91期～第96期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
67期(2017年9月15日)	9,726		15		△0.5	73.4	—	4,004	
68期(2017年10月16日)	9,653		15		△0.6	71.1	—	3,632	
69期(2017年11月15日)	9,721		15		0.9	70.9	—	3,363	
70期(2017年12月15日)	9,700		10		△0.1	69.6	—	3,178	
71期(2018年1月15日)	9,601		10		△0.9	69.9	—	2,976	
72期(2018年2月15日)	9,596		10		0.1	68.8	—	2,804	
73期(2018年3月15日)	9,670		10		0.9	72.4	—	2,714	
74期(2018年4月16日)	9,745		10		0.9	73.0	—	2,706	
75期(2018年5月15日)	9,719		10		△0.2	73.1	—	2,676	
76期(2018年6月15日)	9,673		8		△0.4	75.4	—	2,615	
77期(2018年7月17日)	9,630		8		△0.4	78.4	—	2,504	
78期(2018年8月15日)	9,669		8		0.5	77.0	—	2,443	
79期(2018年9月18日)	9,610		7		△0.5	79.5	—	2,383	
80期(2018年10月15日)	9,566		7		△0.4	76.7	—	2,299	
81期(2018年11月15日)	9,693		7		1.4	76.5	—	2,277	
82期(2018年12月17日)	9,731		5		0.4	77.7	—	2,257	
83期(2019年1月15日)	9,669		5		△0.6	79.1	—	2,221	
84期(2019年2月15日)	9,713		5		0.5	78.7	—	2,227	
85期(2019年3月15日)	9,781		5		0.8	79.1	—	2,235	
86期(2019年4月15日)	9,753		5		△0.2	80.6	—	2,215	
87期(2019年5月15日)	9,737		5		△0.1	81.5	—	2,183	
88期(2019年6月17日)	9,771		5		0.4	82.9	—	2,164	
89期(2019年7月16日)	9,721		5		△0.5	83.2	—	2,147	
90期(2019年8月15日)	9,747		5		0.3	84.2	—	2,136	
91期(2019年9月17日)	9,666		4		△0.8	85.6	—	2,116	
92期(2019年10月15日)	9,661		4		△0.0	85.5	—	2,089	
93期(2019年11月15日)	9,630		4		△0.3	86.2	—	2,075	
94期(2019年12月16日)	9,622		4		△0.0	88.3	—	2,045	
95期(2020年1月15日)	9,553		4		△0.7	83.8	—	2,014	
96期(2020年2月17日)	9,481		4		△0.7	86.9	—	1,969	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第91期	(期 首) 2019年8月15日	円 9,747		% —	% 84.2		% —
	8月末	9,780		0.3	85.1		—
	(期 末) 2019年9月17日	9,670		△0.8	85.6		—
第92期	(期 首) 2019年9月17日	9,666		—	85.6		—
	9月末	9,673		0.1	85.0		—
	(期 末) 2019年10月15日	9,665		△0.0	85.5		—
第93期	(期 首) 2019年10月15日	9,661		—	85.5		—
	10月末	9,726		0.7	84.8		—
	(期 末) 2019年11月15日	9,634		△0.3	86.2		—
第94期	(期 首) 2019年11月15日	9,630		—	86.2		—
	11月末	9,675		0.5	87.1		—
	(期 末) 2019年12月16日	9,626		△0.0	88.3		—
第95期	(期 首) 2019年12月16日	9,622		—	88.3		—
	12月末	9,617		△0.1	88.4		—
	(期 末) 2020年1月15日	9,557		△0.7	83.8		—
第96期	(期 首) 2020年1月15日	9,553		—	83.8		—
	1月末	9,525		△0.3	86.1		—
	(期 末) 2020年2月17日	9,485		△0.7	86.9		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第91期～第96期：2019年8月16日～2020年2月17日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第91期首	9,747円
第96期末	9,481円
既払分配金	24円
騰落率	-2.5%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ2.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

**> 基準価額の主な変動要因****下落要因**

安定運用部分（国内債券運用部分）は、国内金利の上昇を受けて基準価額にマイナスに影響しました。

プラスアルファ部分（通貨戦略運用部分）は、計量分析による通貨投資戦略の有効性が限定的となったことから、基準価額にマイナスに影響しました。

第91期～第96期：2019年8月16日～2020年2月17日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**国内金利は上昇しました。**

国内金利は、日銀総裁が超長期金利の過度な低下をけん制したことや、政策金利引き下げ観測の後退などから上昇しました。

### ▶ 為替市況

**主な通貨の値動きは、騰落率が高い通貨から順に英ポンド、米ドル、オーストラリアドル、スイスフラン、ユーロ、円となりました。**

英ポンドは、英国と欧州連合（EU）が同国のEU離脱に関する条件の修正に合意したことや、その後の総選挙において

与党が勝利したことなどを背景に合意なきEU離脱に対する懸念が後退したことなどを受けて、円や米ドルなどに対して上昇しました。

米ドルは、発表された同国の経済指標が堅調な内容だったことや米中の通商問題に一部進展がみられたことなどを背景に円に対して上昇しました。

オーストラリアドルは、米国とイラン間の緊張の高まりや新型コロナウイルス拡大による世界景気の減速懸念などを背景に2020年始以降は軟調に推移し、対米ドルでは下落したものの、米ドルが円に対して上昇したことを受けて対円では上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 国内債券通貨プラス

#### プラスアルファ部分（通貨戦略運用部分）

通貨配分および通貨への実質投資比率は、「金利水準」「市況動向」「割安度」および「通貨市場のリスク水準」の観点から、計量分析によって算出される各通貨の魅力度を基に決定しました。

当作成期間を通じての主な通貨配分については、割安度や金利水準などの面で魅力度が高いと判定されたカナダドルなどを買って建てるとし、割安度や金利水準などの面で魅力度が低いと判定されたスイスフランなどを売って建てるとしました。

#### プラス要因

スウェーデンクローナは、2019年10月上旬から11月下旬にかけて買って建てていた中、発表された消費者物価指数が

市場予想を上回ったことや、同国の中央銀行が12月に利上げを行い、マイナス金利状態を解消する見通しを示したことなどを背景に対円で上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

#### マイナス要因

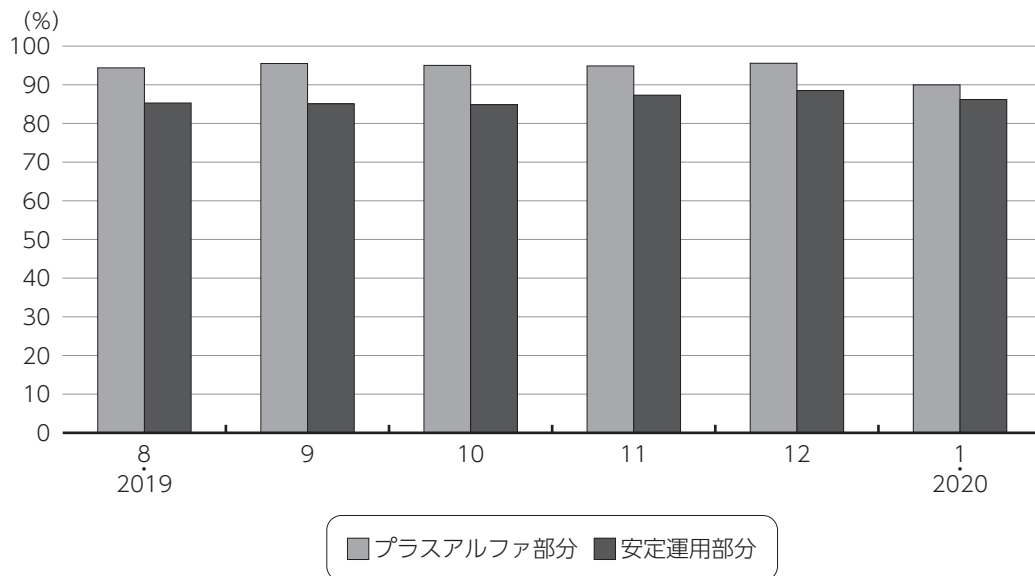
ノルウェークローネは、2019年12月に売り建てとしていた中、同国の中央銀行が政策金利を据え置いたものの、将来的な利上げ余地を残す姿勢を示したことや主な輸出品目である原油価格が上昇したことなどを背景に対円で上昇し、基準価額にマイナスに影響しました。

#### 安定運用部分（国内債券運用部分）

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内債券への実質投資を行いました。

(ご参考)

## ■投資配分の推移（月末ベース）

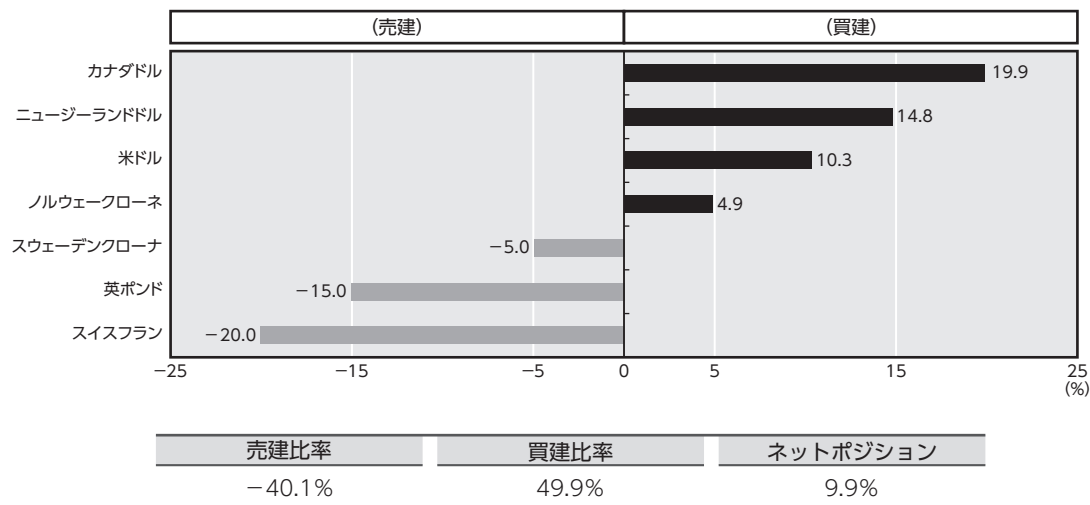


- ・比率は、「国内債券通貨プラス」の純資産総額に対する割合です。
- ・プラスアルファ部分は、新興国を含む世界各国の通貨に0～100%の範囲で投資します。
- ・プラスアルファ部分は、通貨別組入比率における買建比率と売建比率（絶対値）の合計です。
- ・安定運用部分は、国内債券に50～100%の範囲で投資します。
- ・安定運用部分には経過利子を含めて表示しています。



(ご参考)

## ■プラスアルファ部分の通貨別組入比率 (2020年1月末)



- ・比率は、「国内債券通貨プラス」における外国為替予約取引および直物為替先渡取引（NDF）等の合計により計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。
- ・米ドルにはNDFにかかるポジションが含まれます。

## ▶三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については中立を基本に調整しましたが、2019年10月初めから11月末にかけての期間は日銀による国債買入れオペの運営に不透明感が高まったと判断し、ベンチマーク対比短めとしました。年限別構成については、中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しましたが、デュレーションを短めとし

た期間については超長期ゾーンをベンチマーク並みとしました。

債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債および円建外債のオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2019年8月16日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	4 (0.041%)	4 (0.041%)	4 (0.042%)	4 (0.042%)	4 (0.042%)	4 (0.042%)
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	4	4	4	4	4	4
翌期繰越分配対象額	44	40	36	32	28	24

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 国内債券通貨プラス

#### プラスアルファ部分 (通貨戦略運用部分)

「金利水準」「市況動向」「割安度」の観点から計量分析によって算出される各通貨の魅力度を基に、新興国を含む世界各国の通貨へ投資を行い、相場環境にかかわらず中長期的な収益の獲得をめざします。

#### 安定運用部分 (国内債券運用部分)

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内債券への実質投資を行う方針です。

### ▶ 三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。

ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。

債券種別構成については、事業債および円建外債をベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

2019年8月16日～2020年2月17日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第91期～第96期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	70	0.724	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
（投信会社）	(19)	(0.195)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(48)	(0.501)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	( 0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	70	0.726	

作成期中の平均基準価額は、9,646円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

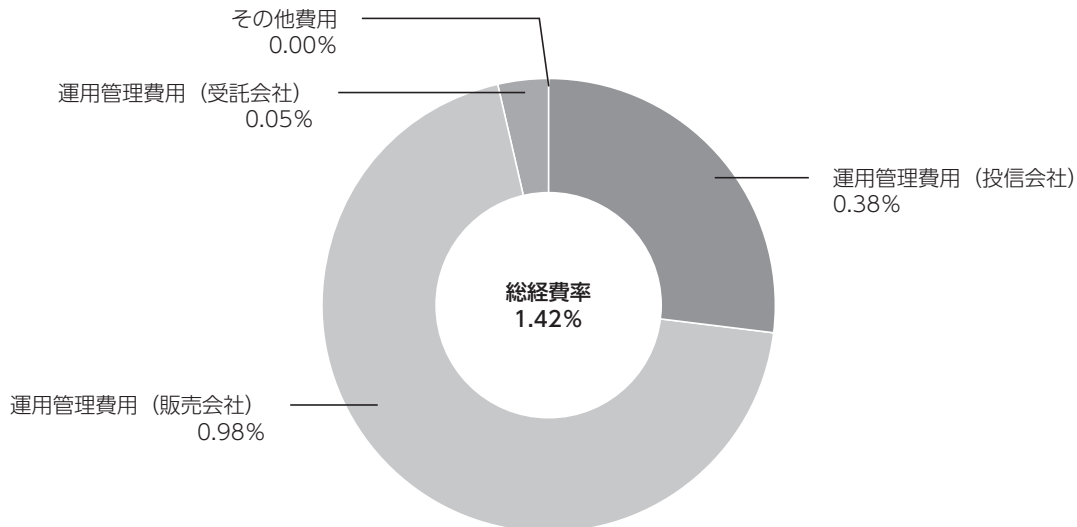
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.42%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年8月16日～2020年2月17日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第91期～第96期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 67,736	千円 100,000

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年8月16日～2020年2月17日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;国内債券通貨プラス&gt;

区 分	第91期～第96期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 22,198	百万円 5,844	% 26.3	百万円 22,070	百万円 5,864	% 26.6

## &lt;三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド&gt;

区 分	第91期～第96期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 2,930	百万円 965	% 32.9	百万円 2,636	百万円 699	% 26.5

平均保有割合 17.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

## &lt;三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド&gt;

種 類	第91期～第96期		
	買 付 額	売 付 額	第96期末保有額
公社債	百万円 100	百万円 —	百万円 402

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

### <三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド>

種 類	第91期～第96期	
	買 付	額
公社債		百万円 500

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJリース、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

### ○組入資産の明細

(2020年2月17日現在)

#### 親投資信託残高

銘 柄	第90期末	第96期末	
	口 数	口 数	評 価 額
三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	千口 1,241,644	千口 1,173,907	千円 1,740,200

### ○投資信託財産の構成

(2020年2月17日現在)

項 目	第96期末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	千円 1,740,200	% 87.7
コール・ローン等、その他	243,696	12.3
投資信託財産総額	1,983,896	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産(7,052千円)の投資信託財産総額(1,983,896千円)に対する比率は0.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.80円		
-----------------	--	--

### ○特定資産の価格等の調査

(2019年8月16日～2020年2月17日)

当作成期において、資産の取引はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2019年9月17日現在	2019年10月15日現在	2019年11月15日現在	2019年12月16日現在	2020年1月15日現在	2020年2月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,157,294,896	4,101,302,079	4,075,859,720	3,830,607,813	3,902,958,608	3,652,343,839
コール・ローン等	279,969,217	247,503,350	258,479,726	227,615,780	288,654,613	240,744,590
三菱UFJ 国内債券アクティブマネージャーファンド(詳細欄)	1,846,325,167	1,846,325,167	1,834,157,053	1,835,026,204	1,730,456,976	1,740,200,408
未収入金	2,031,000,512	2,007,473,562	1,983,222,941	1,767,965,829	1,883,847,019	1,671,398,841
(B) 負債	2,041,290,384	2,011,786,605	1,999,864,359	1,784,993,154	1,888,236,416	1,682,857,742
未払金	2,037,503,009	2,003,297,119	1,989,323,326	1,775,473,201	1,885,002,544	1,679,458,730
未払収益分配金	875,603	865,138	862,269	850,410	843,596	830,877
未払解約金	199,954	5,334,998	7,126,701	6,156,419	—	—
未払信託報酬	2,705,089	2,284,032	2,545,720	2,507,040	2,384,704	2,562,125
未払利息	497	55	480	308	78	110
その他未払費用	6,232	5,263	5,863	5,776	5,494	5,900
(C) 純資産総額(A-B)	2,116,004,512	2,089,515,474	2,075,995,361	2,045,614,659	2,014,722,192	1,969,486,097
元本	2,189,008,892	2,162,845,270	2,155,673,738	2,126,027,148	2,108,991,055	2,077,193,533
次期繰越損益金	△ 73,004,380	△ 73,329,796	△ 79,678,377	△ 80,412,489	△ 94,268,863	△ 107,707,436
(D) 受益権総口数	2,189,008,892口	2,162,845,270口	2,155,673,738口	2,126,027,148口	2,108,991,055口	2,077,193,533口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,666円	9,661円	9,630円	9,622円	9,553円	9,481円



## ○損益の状況

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2019年8月16日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 8,653	△ 1,188	△ 4,580	△ 3,007	△ 6,393	△ 1,135
受取利息	5,966	5,648	4,118	2,725	2,462	2,551
支払利息	△ 14,619	△ 6,836	△ 8,698	△ 5,732	△ 8,855	△ 3,686
(B) 有価証券売買損益	△14,000,703	1,958,501	△ 3,254,882	1,535,491	△11,256,137	△ 11,460,955
売買益	45,227,094	60,062,241	43,126,094	24,091,993	32,915,667	31,288,395
売買損	△59,227,797	△58,103,740	△46,380,976	△22,556,502	△44,171,804	△ 42,749,350
(C) 信託報酬等	△ 2,711,321	△ 2,289,295	△ 2,551,583	△ 2,512,816	△ 2,390,198	△ 2,568,025
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△16,720,677	△ 331,982	△ 5,511,045	△ 980,332	△13,652,728	△ 14,030,115
(E) 前期繰越損益金	△41,779,561	△57,778,532	△57,476,190	△62,374,637	△62,804,391	△ 75,070,491
(F) 追加信託差損益金	△13,628,539	△14,354,144	△15,528,873	△16,207,110	△16,968,148	△ 17,775,953
(配当等相当額)	( 10,433,107)	( 9,443,471)	( 8,551,552)	( 7,588,316)	( 6,684,483)	( 5,753,767)
(売買損益相当額)	(△24,061,646)	(△23,797,615)	(△24,080,425)	(△23,795,426)	(△23,652,631)	(△ 23,529,720)
(G) 計 (D + E + F)	△72,128,777	△72,464,658	△78,816,108	△79,562,079	△93,425,267	△106,876,559
(H) 収益分配金	△ 875,603	△ 865,138	△ 862,269	△ 850,410	△ 843,596	△ 830,877
次期繰越損益金 (G + H)	△73,004,380	△73,329,796	△79,678,377	△80,412,489	△94,268,863	△107,707,436
追加信託差損益金	△14,504,142	△15,219,282	△16,391,142	△17,057,520	△17,811,744	△ 18,606,830
(配当等相当額)	( 9,557,633)	( 8,578,549)	( 7,694,005)	( 6,738,354)	( 5,841,272)	( 4,924,784)
(売買損益相当額)	(△24,061,775)	(△23,797,831)	(△24,085,147)	(△23,795,874)	(△23,653,016)	(△ 23,531,614)
分配準備積立金	195,157	192,751	190,647	187,898	186,265	182,885
繰越損益金	△58,695,395	△58,303,265	△63,477,882	△63,542,867	△76,643,384	△ 89,283,491

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ①作成期首（前作成期末）元本額 2,191,732,002円  
 作成期中追加設定元本額 27,285,796円  
 作成期中一部解約元本額 141,824,265円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9481円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は107,707,436円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2019年8月16日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日
費用控除後の配当等収益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	10,433,236円	9,443,687円	8,556,274円	7,588,764円	6,684,868円	5,755,661円
分配準備積立金額	195,157円	192,751円	190,647円	187,898円	186,265円	182,885円
当ファンドの分配対象収益額	10,628,393円	9,636,438円	8,746,921円	7,776,662円	6,871,133円	5,938,546円
1万口当たり収益分配対象額	48円	44円	40円	36円	32円	28円
1万口当たり分配金額	4円	4円	4円	4円	4円	4円
収益分配金金額	875,603円	865,138円	862,269円	850,410円	843,596円	830,877円

## ○分配金のお知らせ

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
1万口当たり分配金（税込み）	4円	4円	4円	4円	4円	4円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

### 《第20期》決算日2020年2月17日

[計算期間：2019年2月16日～2020年2月17日]

「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」は、2月17日に第20期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>わが国の公社債を主要投資対象とします。ただし、事業債、円建外債についてはBBB格（S&amp;P、ムーディーズ、格付投資情報センターおよび日本格付研究所のいずれかから取得したもの）相当以上の格付を有する債券を対象とします。</p> <p>NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、これを中長期的に上回ることを目標に運用を行います。</p> <p>経済や金利の分析をベースに、デュレーション・残存構成・債券種別等をコントロールするアクティブ運用を行います。具体的には、次のプロセスによります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 経済分析や市場分析等を踏まえて金利の方向性等を予測し、デュレーションに関する戦略を策定します。</li> <li>2) また、同様の分析を行い金利の期間構造等を予測し、上記のデュレーション戦略を加味して、残存構成に関する戦略を策定します。</li> <li>3) さらに、各債券種別間の利回り較差動向等を予測し、債券種別構成に関する戦略を策定します。</li> <li>4) 以上の戦略を総合して、ポートフォリオを構築します。</li> </ol>
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI総合		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
16期(2016年2月15日)	13,926	4.0	373.37	3.7	98.6	—	6,513
17期(2017年2月15日)	14,177	1.8	376.96	1.0	97.6	—	10,226
18期(2018年2月15日)	14,354	1.2	380.62	1.0	95.9	—	7,800
19期(2019年2月15日)	14,595	1.7	386.63	1.6	96.8	—	8,896
20期(2020年2月17日)	14,824	1.6	391.16	1.2	98.4	—	10,627

(注) NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 総 合		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率		
(期 首) 2019年2月15日	円	%		%	%	%
	14,595	—	386.63	—	96.8	—
2月末	14,589	△0.0	386.43	△0.1	95.2	—
3月末	14,697	0.7	389.14	0.7	97.7	—
4月末	14,653	0.4	387.94	0.3	98.0	—
5月末	14,755	1.1	390.32	1.0	97.5	—
6月末	14,855	1.8	392.69	1.6	97.0	—
7月末	14,879	1.9	393.15	1.7	95.9	—
8月末	15,086	3.4	398.50	3.1	97.3	—
9月末	14,909	2.2	394.27	2.0	97.0	—
10月末	14,857	1.8	392.61	1.5	97.1	—
11月末	14,816	1.5	391.33	1.2	98.3	—
12月末	14,779	1.3	390.14	0.9	98.3	—
2020年1月末	14,847	1.7	391.77	1.3	98.0	—
(期 末) 2020年2月17日	14,824	1.6	391.16	1.2	98.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

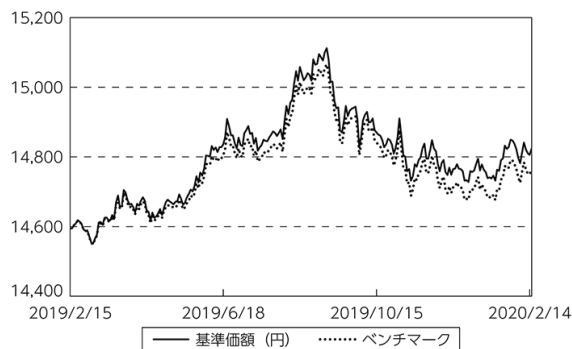
## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.6%の上昇となりました。

## ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(1.2%)を0.4%上回りました。

## 基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

超長期ゾーン中心に国内金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## ● 投資環境について

## ◎ 国内債券市況

国内金利は低下しました。

- ・国内金利は、世界的な景気減速懸念の台頭や米国金利の低下などから2019年9月上旬にかけて低下基調となりました。その後は、日銀総裁が超長期金利の過度な低下をけん制したことや、政策金利引き下げ観測の後退などから上昇しました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）についてはベンチマーク対比で中立を基本に調整しましたが、2019年10月初旬から11月末にかけては短めとしました。年限別構成については、中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しましたが、デュレーションを短めとしていた期間は、中期ゾーンをアンダーウェイトとしました。
- ・債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債および円建外債のオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異について（プラス要因）

## ◎ デュレーション

- ・2019年10月初めから11月末にかけての金利上昇局面においてデュレーションを短くしたこと。

## ◎ 年限別構成

- ・期首から2019年9月初旬および2019年12月から期末にかけてパフォーマンスの優れた超長期ゾーンのオーバーウェイトを維持したこと。

## ◎ 債券種別構成

- ・2019年9月初旬から期末にかけてパフォーマンスの優れた事業債および円建外債のオーバーウェイトを維持したこと。

(マイナス要因)

## ◎ 年限別構成

- ・2019年9月上旬から10月初めにかけての金利上昇時に、パフォーマンスの劣化した超長期ゾーンのオーバーウェイトを維持したこと。

## ○ 今後の運用方針

- ・安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位を維持する方針です。
- ・ファンド全体のデュレーションは、当面ベンチマーク対比中立を基本に機動的にリスク度合いを調整する方針です。
- ・債券種別構成については、事業債および円建外債をベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年2月16日～2020年2月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	0	0.000	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、14,798円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年2月16日～2020年2月17日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国債証券	4,275,208	3,395,512
	特殊債券	200,002	200,008
	社債券	2,603,607	1,709,574

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年2月16日～2020年2月17日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 7,078	百万円 2,010	% 28.4	百万円 5,305	百万円 1,345	% 25.4

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

## 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 100	百万円 —	百万円 402

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
公社債	百万円 1,200

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJリース、アコムです。

## ○組入資産の明細

(2020年2月17日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	5,260,000	6,146,310	57.8	—	56.4	1.4	—	
普通社債券	4,300,000	4,308,281	40.5	—	2.8	28.3	9.5	
	(4,200,000)	(4,207,890)	(39.6)	(—)	(2.8)	(27.3)	(9.5)	
合 計	9,560,000	10,454,591	98.4	—	59.2	29.7	9.5	
	(4,200,000)	(4,207,890)	(39.6)	(—)	(2.8)	(27.3)	(9.5)	

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
<b>国債証券</b>	%	千円	千円	
第141回利付国債 (5年)	0.1	150,000	151,660	2024/9/20
第5回利付国債 (40年)	2.0	70,000	104,367	2052/3/20
第7回利付国債 (40年)	1.7	60,000	85,313	2054/3/20
第10回利付国債 (40年)	0.9	60,000	70,599	2057/3/20
第11回利付国債 (40年)	0.8	60,000	68,611	2058/3/20
第342回利付国債 (10年)	0.1	40,000	40,601	2026/3/20
第345回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,845	2026/12/20
第346回利付国債 (10年)	0.1	100,000	101,753	2027/3/20
第347回利付国債 (10年)	0.1	130,000	132,311	2027/6/20
第350回利付国債 (10年)	0.1	100,000	101,795	2028/3/20
第351回利付国債 (10年)	0.1	90,000	91,550	2028/6/20
第352回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,844	2028/9/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	310,000	314,814	2029/3/20
第356回利付国債 (10年)	0.1	30,000	30,433	2029/9/20
第23回利付国債 (30年)	2.5	40,000	55,030	2036/6/20
第26回利付国債 (30年)	2.4	60,000	82,347	2037/3/20
第27回利付国債 (30年)	2.5	10,000	13,978	2037/9/20
第28回利付国債 (30年)	2.5	20,000	28,150	2038/3/20
第30回利付国債 (30年)	2.3	40,000	55,490	2039/3/20
第31回利付国債 (30年)	2.2	30,000	41,269	2039/9/20
第32回利付国債 (30年)	2.3	70,000	98,191	2040/3/20
第33回利付国債 (30年)	2.0	50,000	67,527	2040/9/20
第34回利付国債 (30年)	2.2	60,000	83,850	2041/3/20
第36回利付国債 (30年)	2.0	70,000	95,835	2042/3/20
第37回利付国債 (30年)	1.9	40,000	54,110	2042/9/20
第38回利付国債 (30年)	1.8	20,000	26,735	2043/3/20
第39回利付国債 (30年)	1.9	50,000	68,114	2043/6/20
第42回利付国債 (30年)	1.7	60,000	79,490	2044/3/20
第44回利付国債 (30年)	1.7	30,000	39,890	2044/9/20
第45回利付国債 (30年)	1.5	20,000	25,695	2044/12/20
第46回利付国債 (30年)	1.5	50,000	64,371	2045/3/20
第49回利付国債 (30年)	1.4	30,000	38,003	2045/12/20
第50回利付国債 (30年)	0.8	60,000	67,094	2046/3/20
第53回利付国債 (30年)	0.6	30,000	32,036	2046/12/20
第54回利付国債 (30年)	0.8	100,000	111,962	2047/3/20
第58回利付国債 (30年)	0.8	130,000	145,702	2048/3/20
第60回利付国債 (30年)	0.9	80,000	91,911	2048/9/20
第61回利付国債 (30年)	0.7	30,000	32,793	2048/12/20
第98回利付国債 (20年)	2.1	70,000	81,959	2027/9/20
第99回利付国債 (20年)	2.1	110,000	129,316	2027/12/20
第100回利付国債 (20年)	2.2	80,000	95,069	2028/3/20
第103回利付国債 (20年)	2.3	60,000	72,102	2028/6/20
第105回利付国債 (20年)	2.1	50,000	59,475	2028/9/20
第108回利付国債 (20年)	1.9	20,000	23,523	2028/12/20
第110回利付国債 (20年)	2.1	50,000	59,889	2029/3/20



銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>	%	千円	千円	
第111回利付国債 (20年)	2.2	70,000	84,809	2029/6/20
第113回利付国債 (20年)	2.1	50,000	60,354	2029/9/20
第114回利付国債 (20年)	2.1	50,000	60,565	2029/12/20
第116回利付国債 (20年)	2.2	70,000	85,785	2030/3/20
第118回利付国債 (20年)	2.0	60,000	72,550	2030/6/20
第121回利付国債 (20年)	1.9	30,000	36,091	2030/9/20
第123回利付国債 (20年)	2.1	50,000	61,410	2030/12/20
第125回利付国債 (20年)	2.2	70,000	87,066	2031/3/20
第128回利付国債 (20年)	1.9	60,000	72,838	2031/6/20
第130回利付国債 (20年)	1.8	50,000	60,287	2031/9/20
第132回利付国債 (20年)	1.7	50,000	59,883	2031/12/20
第136回利付国債 (20年)	1.6	30,000	35,648	2032/3/20
第137回利付国債 (20年)	1.7	40,000	48,120	2032/6/20
第140回利付国債 (20年)	1.7	40,000	48,254	2032/9/20
第141回利付国債 (20年)	1.7	110,000	132,977	2032/12/20
第143回利付国債 (20年)	1.6	100,000	119,911	2033/3/20
第145回利付国債 (20年)	1.7	70,000	85,017	2033/6/20
第146回利付国債 (20年)	1.7	80,000	97,418	2033/9/20
第147回利付国債 (20年)	1.6	90,000	108,645	2033/12/20
第148回利付国債 (20年)	1.5	60,000	71,714	2034/3/20
第149回利付国債 (20年)	1.5	90,000	107,805	2034/6/20
第150回利付国債 (20年)	1.4	110,000	130,370	2034/9/20
第152回利付国債 (20年)	1.2	100,000	115,999	2035/3/20
第153回利付国債 (20年)	1.3	40,000	47,036	2035/6/20
第154回利付国債 (20年)	1.2	100,000	116,257	2035/9/20
第155回利付国債 (20年)	1.0	80,000	90,588	2035/12/20
第158回利付国債 (20年)	0.5	110,000	115,855	2036/9/20
第159回利付国債 (20年)	0.6	90,000	96,255	2036/12/20
第160回利付国債 (20年)	0.7	40,000	43,446	2037/3/20
第162回利付国債 (20年)	0.6	140,000	149,767	2037/9/20
第164回利付国債 (20年)	0.5	40,000	42,094	2038/3/20
第166回利付国債 (20年)	0.7	170,000	185,065	2038/9/20
小 計		5,260,000	6,146,310	
<b>普通社債券</b>				
第563回東京電力	1.39	100,000	100,362	2020/5/28
第50回日本電気	0.29	100,000	100,290	2022/6/15
第15回パナソニック	0.19	200,000	200,280	2021/9/17
第34回ソニー	0.13	100,000	99,769	2024/10/10
第43回IHI	0.2	100,000	99,751	2024/10/17
第15回J A三井リース	0.22	100,000	99,980	2025/1/24
第1回日本生命2017基金	0.304	100,000	100,083	2021/8/2
第1回明治安田生命2018基金	0.315	100,000	100,107	2023/9/25
第1回日本生命2019基金	0.25	100,000	99,763	2024/8/1
第1回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	99,894	2024/8/2
第1回楽天カード	0.14	100,000	99,926	2022/12/12
第35回丸井グループ	0.17	100,000	99,612	2024/10/18

銘柄	当 期 末		
	利 率	額 面 金 額	評 価 額
普通社債券	%	千円	千円
第13回三井住友トラスト・ホールディングス期限前償還条項付	0.41	100,000	99,822
第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	1.56	200,000	202,682
第18回みずほフィナンシャルグループ期限前償還条項付	0.42	100,000	99,698
第19回SBIホールディングス	0.45	100,000	99,928
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	99,975
第7回イオンフィナンシャルサービス	0.19	100,000	99,844
第75回アコム	0.309	100,000	100,144
第74回三菱UFJリース	0.09	100,000	99,923
第1回野村ホールディングス	0.3	100,000	99,930
第2回野村ホールディングス	0.29	100,000	99,691
第2回東京電力パワーグリッド	0.58	100,000	100,920
第12回東京電力パワーグリッド	0.44	100,000	100,721
第16回東京電力パワーグリッド	0.57	100,000	100,551
第27回東京電力パワーグリッド	0.6	100,000	100,911
第23回フランス相互信用連合銀行	0.217	100,000	99,843
第29回フランス相互信用連合銀行	0.25	100,000	100,067
第10回ビー・ピー・シー・イー・エス・エー	0.473	200,000	200,278
第3回香港上海銀行	0.204	100,000	99,562
第3回マラヤン・バンキング(2019)	0.27	200,000	200,234
第6回マラヤン・バンキング	0.224	200,000	200,060
第2回スタンダード・チャータード・ピーエルシー	0.453	100,000	100,069
第1回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項付	1.232	100,000	101,131
第1回サンタンデール銀行(2019)	0.463	100,000	99,869
第17回シティグループ	2.04	100,000	101,095
第3回ソシエテ ジェネラル円貨社債(2018)	0.804	100,000	101,125
UBS GROUP FUNDING (SWITZERLAND)	0.719	100,000	100,391
小 計		4,300,000	4,308,281
合 計		9,560,000	10,454,591

## ○投資信託財産の構成

(2020年2月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
	10,454,591	98.3
コール・ローン等、その他	179,595	1.7
投資信託財産総額	10,634,186	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月17日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	10,634,186,729
コール・ローン等	152,879,548
公社債(評価額)	10,454,591,600
未収利息	25,760,153
前払費用	955,428
(B) 負債	6,597,645
未払解約金	6,597,573
未払利息	72
(C) 純資産総額(A-B)	10,627,589,084
元本	7,169,057,315
次期繰越損益金	3,458,531,769
(D) 受益権総口数	7,169,057,315口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,824円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 6,095,185,534円  
 期中追加設定元本額 3,093,555,386円  
 期中一部解約元本額 2,019,683,605円  
 また、1口当たり純資産額は、期末14,824円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

国内債券セクション(ラップ向け)	1,901,752,670円
国内債券通貨プラス	1,173,907,453円
三菱UFJ 日本バランスオープン 株式40型	818,638,665円
三菱UFJ 日本バランスオープン 株式20型	810,293,571円
三菱UFJ ライフプラン 50	461,600,117円
三菱UFJ ライフプラン 25	407,643,033円
三菱UFJ ライフプラン 50VA(適格機関投資家限定)	248,814,995円
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA(適格機関投資家限定)	162,398,946円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーフンド 2030	143,584,739円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	132,810,562円
三菱UFJ ライフプラン 75	127,739,307円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	115,761,910円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)	113,992,915円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定成長型)	113,957,677円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーフンド 2040	90,705,396円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定型)	82,928,388円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(成長型)	49,745,647円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(積極型)	47,825,650円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)	46,576,319円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)	37,592,574円
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA(適格機関投資家限定)	37,443,413円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)	21,586,313円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2030	13,515,154円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2040	8,241,901円
合計	7,169,057,315円

## ○損益の状況 (2019年2月16日~2020年2月17日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	81,752,158
受取利息	81,898,342
支払利息	△ 146,184
(B) 有価証券売買損益	73,479,400
売買益	108,213,300
売買損	△ 34,733,900
(C) 保管費用等	△ 21,914
(D) 当期損益金(A+B+C)	155,209,644
(E) 前期繰越損益金	2,800,828,437
(F) 追加信託差損益金	1,460,876,929
(G) 解約差損益金	△ 958,383,241
(H) 計(D+E+F+G)	3,458,531,769
次期繰越損益金(H)	3,458,531,769

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。